HADANO

表丹沢魅力づくり構想
「本物の魅力」が見つかる表丹沢
コンセプトブック

令和３年(2021年)３月　初版発行
令和３年(2021年)６月　第２版発行

編集・発行　秦野市はだの魅力づくり担当
住　所　秦野市桜町一丁目３番２号
ＴＥＬ　0463-82-5111（代表）
ＦＡＸ　0463-82-6793（代表）
E-mail: miryoku@city.hadano.kanagawa.jp
https://city.hadano.kanagawa.jp

※本冊子の作成には、神奈川県の競馬事業収益配分金を活用しています。

本構想に関する詳細は、秦野市公式HP「表丹沢魅力づくり構想」のページから確認できます。

表丹沢魅力づくり構想　検索

わたしのいつもを変える、暮らしを高める

本物の魅力が
見つかる表丹沢

第２版

表丹沢魅力づくり構想
コンセプトブック

神奈川県 秦野市

表丹沢魅力づくり構想コンセプトブックとは

新東名高速道路の開通を、本市のより一層の発展につなげるため、表丹沢一帯にある農林業、観光、歴史、文化、スポーツなどさまざまな魅力ある資源を最大限に生かす「表丹沢魅力づくり構想」を令和２年（2020 年）９月に策定しました。

このコンセプトブックは、構想の内容をみなさまにわかりやすくお伝えするために作成しました。
「表丹沢魅力づくり構想」によって、自分のいつもの暮らしがどう変わっていくのか、 自分ならどんな関わり方ができるだろうか、そんなことをイメージしながら、ぜひ読んでみてください。

目 次

表丹沢はこんなところ

自然・歴史 編 …… 3
葉たばこ耕作と農 編 …… 5
アクティビティ 編 …… 7

魅力づくりの５つのヒント

表丹沢の魅力を引き出すための「魅力づくりビジョン」…… 9
ヒント１：自分にとっての魅力を見つけ出せる仕組みづくり …… 10
ヒント２：今ある資源を大切に、新しい形で魅力を伝える …… 11
ヒント３：ここにしかない出会いと記憶を …… 12
ヒント４：自然と歩む、ゆとりある暮らし …… 13
ヒント５：一つの場所からつながる、見つかる …… 14

こんなふうに変わった、わたしの暮らし

小学生の子どもがいる 30 代夫婦の場合 …… 15
20 代後半の独身女性の場合 …… 17
60 代のシニア夫婦の場合 …… 19
表丹沢で、自分だけの「本物の魅力」を見つけ出そう！ …… 21

自然・歴史 編

丹沢表尾根からの景色

本市は、北側を丹沢山地、南側を渋沢丘陵に囲まれた県内唯一の典型的な盆地です。

本市を抱く豊かな緑は、森林や多様な生物を育み、わたしたちに四季折々の雄大な景色を見せてくれます。

市内に点在する湧水

地形的特徴が生み出す湧水群

盆地という地形は、地下に水を溜め込む性質を持っており、本市の地下は、芦ノ湖（箱根町）の約４倍の豊富な水をたたえる「天然の水がめ」となっています。

その澄んだおいしい水は、市内のいろいろなところから湧き出しており、湧き水を汲みに多くの人が訪れます。

蓑毛大日堂

地域に点在する歴史・文化資源

奈良時代に建立されたと伝わる蓑毛大日堂（国登録有形文化財）をはじめ、表丹沢にはさまざまな文化財が点在しています。

縄文時代後期の大規模集落跡や、中世の武士の館を示す遺構や遺物、かつての大山詣りの人々を案内した御師（先導師）の家々など …

市内では、地域の歴史・文化を学び、維持・保存しようとする市民団体などの活動も盛んです。

塔ノ岳山頂にある狗留孫仏（くるそんぶつ）※1 の石祠

丹沢修験道として栄えた歴史

丹沢の山々は、奈良、平安から江戸時代にかけて山岳信仰に生きた修験者たちが修行を行った歴史を持ちます。

表丹沢をはじめとする丹沢山地の山々には、「行者」「大日」など修験者を偲ばせる土地や山の名前がたくさん残っています。

※1 狗留孫仏：塔ノ岳で尊崇される雨乞いの神

葉たばこ耕作と農編

秦野葉の天日乾燥

毎年９月下旬に
開催されるたばこ祭

「たばこ音頭千人パレード」
葉たばこの育成から収穫、
製品を味わうところまでを
歌にした踊りです。

かつて栄えた葉たばこ耕作

江戸時代初期から始まったといわれる葉たばこ耕作は、明治時代に国の葉煙草専売所と煙草試験地が設置されたことで、さらに栄えていきました。耕作者の努力と工夫による質のよい「秦野葉」は、日本三大銘葉の一つとなり、全国にその名を知られるようになりました。

秦野発展の礎を築いた葉たばこ耕作は、戦後の高度成長、産業構造の転換などにより徐々に衰退し、昭和 59 年（1984 年）に 300 余年の長い歴史に幕を閉じました。

しかし、先人たちがかつて葉たばこ耕作に注いだ情熱は、人が変わり、時代が流れた今でも、市内最大のイベントである「秦野たばこ祭」などの形で市民の中に脈々と受け継がれています。

多品種栽培が特徴の秦野の農業

県内最大規模の売場を有する「じばさんず」をはじめとした市内の直売所では、毎日、地元農家が収穫した新鮮な野菜や果物が並べられます。

また、市内に点在する観光農園では、落花生、さつまいも、いちご、ブルーベリーなどさまざまな体験農業も楽しめます。

体験農業を楽しむ人々

歴史が生んだ秦野の名産品

秦野産の落花生は、葉たばこ耕作の輪作として明治時代から栽培され始め、現在では、落花生を使ったバターやお菓子などの製品が多数開発されているほか、令和の大嘗祭※2 で納められ、知名度を高めています。

また、そばも葉たばこ耕作の裏作として栽培されていた歴史を持ち、おいしい水と厳選された材料を使って作られる、秦野の名産品の一つです。市内には多くのそば屋が点在しており、そば打ち体験も楽しめます。

※2 大嘗祭（だいじょうさい）：新たに即位した天皇が一代に一度だけ行う行事。中心となる儀式の一つである「大嘗宮の儀」では、大嘗祭のために建てられた祭場「大嘗宮」で、その年に収穫された米などを天皇陛下が神々に供えられ、自らも召し上がって豊作や国の平安を祈る。

秦野の落花生

秦野のそば

アクティビティ編

建設が進む新東名高速道路
（令和３年（2021 年）撮影）

都心からのアクセスの良さ

本市の中心市街地に位置する秦野駅は、小田急小田原線「新宿駅」や相鉄本線「横浜駅」から約１時間でアクセスできます。

また、令和５年度（2023 年度）に全線開通予定の新東名高速道路により、首都圏や中部圏、関西圏などからの交通利便性が飛躍的に向上します。

サイクリング文化の展開

市街地からヤビツ峠へつながる県道 70 号は、ヒルクライム※3 のメッカとして多くのサイクリストが訪れる場所です。

平成 30 年（2018 年）からは、県道 70 号や林道などをコースとしたグランフォンド※4 やヒルクライムの大会が開催され、表丹沢でのサイクリング文化が醸成されつつあります。

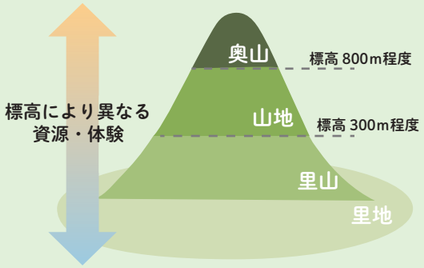
※3 ヒルクライム：峠や山道の決められたコースを、ロードバイクを中心としたスポーツバイクで登る競技もしくは乗り方のこと。
※4 グランフォンド：山岳コースをメインとした長距離を、景色を楽しみながら自転車で走る競技イベントのこと。

ヤビツ峠にて

さまざまな体験ができる懐の広さ

高いところでは標高約 1500ｍの山々を抱える表丹沢では、標高によって、森林とふれあえるさまざまなアクティビティ※5 が体験できます。

奥山から山地、里山にかけては、登山や沢登り、トレイルランニング、サイクリングなどの本格的な体験が楽しめます。一方、麓に広がる里地では、観光農業、キャンプ・バーベキュー、歴史・文化遺産巡りといったゆとりある体験が楽しめます。



※5 アクティビティ：「活動」や「活気」という意味の英単語。特に、観光地等での様々な遊びや体験についていう。

森林セラピー

表丹沢での体験を支える人々

表丹沢をフィールドに、多くの里山ボランティア団体などが活動しています。

表丹沢の歴史資源や自然のガイドツアーをする人がいたり、どぶろくを作る人たちがいたり …

あなたも、表丹沢で自分のやりたいことが見つかるかも？

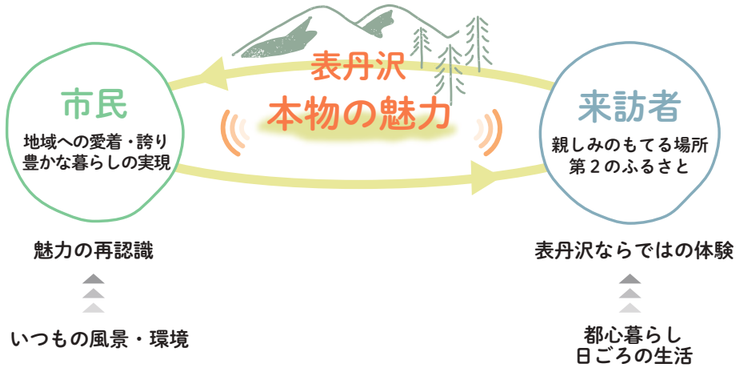
表丹沢の魅力を引き出すための「魅力づくりビジョン」

秦野で日常を過ごす市民のみなさまや、レジャーや出張などで市外から秦野を訪れるみなさま――。これからの表丹沢の魅力づくりに関わる、全てのみなさまにとっての共通指針となる、「魅力づくりビジョン」を掲げました。

魅力づくりビジョン

「本物の魅力」が見つかる表丹沢

～わたしのいつもを変える、暮らしを高める～



次のページからは、このビジョンをもとに、みなさまが表丹沢でアクションを起こす手がかりとなる、「魅力づくりの５つのヒント」を紹介していきます。

自然豊かな里山を散策

ボルダリング体験

その１

魅力づくりの５つのヒント

自分にとっての魅力を見つけ出せる仕組みづくり

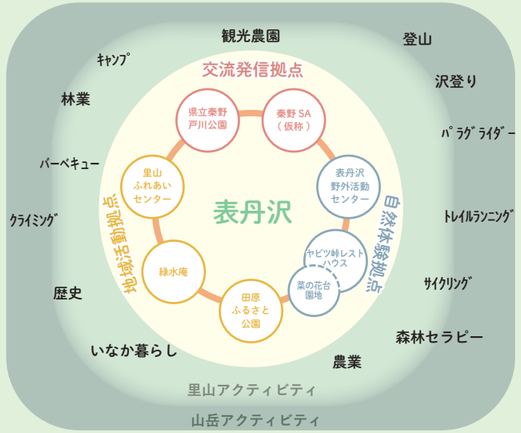
土に親しむ体験農業

奥山から里地里山まで、標高によりさまざまな体験が楽しめる表丹沢は、子どもから高齢者、初心者から熟練者まで、幅広い層を受け入れる懐の広さを持っています。

そんなさまざまなニーズに応えるために、特徴の異なる拠点づくりや、資源をつないで、回遊性や滞在性を高めるための仕掛けを充実していきます。

いつ来ても、だれが来ても、何度来ても、それぞれの魅力を見つけ出せる表丹沢。
今日は、表丹沢でどんな魅力を見つけられるでしょうか。

表丹沢で楽しめる山岳・里山アクティビティとそれをサポートする拠点はこんなにたくさん！



例えばできる、こんなこと

市民・来訪者

気軽に身軽に、ちょっと足を延ばして

各拠点ごとの異なる性格のプログラムが体験できたり、スマホを使って簡単に観光スポットや移動手段をチェックできたり、荷物預かりサービスで、登山後に身軽にまちを散策できたり …。回遊のための仕掛けがあると、行動範囲が広がって、自分が知らない表丹沢をもっと見てみたくなる！

今後、新たに検討していく「新たな取組み」を点線で表示しています。（令和３年３月現在）

魅力づくりの５つのヒント

その 2

今ある資源を大切に、新しい形で魅力を伝える

表丹沢の最大の魅力である森林や里山などの自然資源。表丹沢の魅力は、そんな自然の豊かさあってのもの。

例えば、問題となっているシカやイノシシなどによる被害も、適度に里山に手を入れて、森の動物たちの生息域と人が住む里地との境界線づくりを進め、上手に共存することが、本来あるべき理想の形だったり。

落花生、そば、水・・・。秦野を代表する数々の名産品。既にある、表丹沢の当たり前の資源も、少し形を変えてみるだけで大きな魅力に変わるかも。

「名水百選」選抜総選挙第1位！
「おいしい秦野の水」

森林を活用したヨガ体験

例えばできる、こんなこと

地元農家とカフェのコラボで新たな名産品の開発

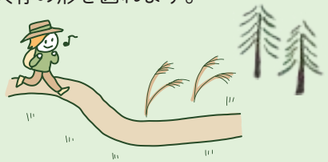
地元農家・商業者

はだのブランド「みっけもん秦野」への認定を目指して、異業種コラボ商品開発にチャレンジ！

遊休地や林道を新たな散策コースとして活用する

森林関係者

野生鳥獣のすみかとなってしまっている林道や遊休地も、ちょっと手を加えれば、眺めの良い散策コースに。
人が立ち入ることで、人と動物の本来の共存の形を図れます。



使ってない雑木林をイベント利用に貸してみる

森林関係者

荒れてしまった雑木林は、間伐や整備をきちんとすれば、明るく豊かな森になる。
森林整備ボランティアや、森林セラピーなどのイベントで定期的に利用して、秦野の自然を未来に残そう。

田植えを学ぶ子どもたち

魅力づくりの５つのヒント

その 3

ここにしかない出会いと記憶を

それぞれの地域には、そこで暮らす人だからこそ知っている、多くの魅力が存在します。
逆に、初めて訪れる人だからこそ、その土地ならではの魅力に気づくことも。

地域と地域以外の人との交流が生まれることで、そこでしか味わえない体験や、忘れがたい人との出会いが生まれます。
そこでの体験で、わたしにとっての本物の魅力を見つけ出しませんか。

鍋割山への登山

例えばできる、こんなこと

アウトドアのプロに聞く自然の楽しみ方

市民・来訪者

各拠点のアウトドアに精通した専任スタッフのアドバイスで、新しいアクティビティにも気軽にどんどんチャレンジできる！

森のいろはを学ぶ夏休みのサマースクール

親子

身近なようで、実はあまり知らない森林や自然のこと。
自然に囲まれた表丹沢は、夏休み期間を利用した子ども向けの自然学校のフィールドにうってつけ。

里山の文化に触れられる体験型ツアーへの参加

市民・来訪者

地元の素材や自然を活用した体験型プログラムは、里山の文化や環境のことを直に体験することができます。本やテレビで見るより、ずっと記憶に残る体験に。

今後、新たに検討していく「新たな取組み」を点線で表示しています。（令和３年３月現在）

魅力づくりの５つのヒント

その 4

自然と歩む、ゆとりある暮らし

いつも当たり前の風景として見ている表丹沢を、実際に訪れ、触れ、体験することで、本当の豊かさに気づくことができます。
都市と自然が融合した暮らしは、生活の中に四季を感じながら、おおらかでゆとりある豊かな時間を味わうことができます。

その豊かさを実感しながら暮らすことは、地域への愛着や誇りを形作っていくことでしょう。そして今度は、その豊かさを他人に伝えることで、誰もが表丹沢の魅力を伝え、広める担い手となれるのです。

相模湾まで見える菜の花台からの眺望

自然の恵みを感じる暮らし

例えばできる、こんなこと

ワーカー

ふるさとテレワークで新しい働き方を

都心へのアクセスが良く、通勤にも便利な秦野ですが、たまには都会の喧騒から離れて、自然が身近にある環境でテレワーク。

市民

趣味を生かして案内ガイドに

資源ガイドの養成講座に参加して、地元の資源に詳しくなることで、さまざまな人に表丹沢の魅力を伝え、人の輪を広げていけます。

移住者

自然の中のマイホームでスローライフを満喫

「さと地共生住宅開発許可制度※6」を利用することで、表丹沢の豊かな自然と土に親しみ、ゆとりあるスローライフが過ごせます。

※6　さと地共生住宅開発許可制度：市街化調整区域でありながら、里地里山など魅力ある地域資源を生かした住宅の建築を許可する制度。

ヤビツ峠レストハウス

魅力づくりの５つのヒント

その 5

一つの場所から つながる、見つかる

表丹沢に点在する魅力あるたくさんの資源や活動を集約した、情報のプラットフォーム（ 総合ホームページ ）を眺めてみると、今まで興味のなかった分野への、わくわくするような入口が見つかるかも。

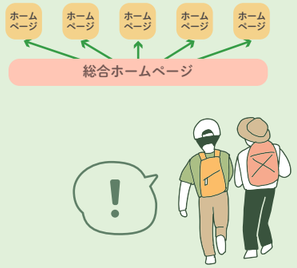
本市域に限らず、周辺市町村にも観光や山岳スポットなどのさまざまな資源が点在しているので、ちょっと足を延ばして更なる体験を求めてみては。

例えばできる、こんなこと

市民・来訪者

表丹沢に関する資源や活動の情報を一箇所でチェックできる総合ホームページを活用

観光農園の旬の果物カレンダーを確認できたり、いろいろなツアーの確認や予約がまとめてできたり…。個々の情報がまとめて見られることで、わくわくが広がり、旅のプランも立てやすくなります。



市民・来訪者

ちょっと足を延ばしてヤビツ峠から大山に

県内屈指の観光地である大山までは、ヤビツ峠からのんびり尾根道を歩くコースがあります。天気がよければ富士山や相模湾を眺めながらの極上の山歩きが楽しめることも。大山からは、日本有数のカルシウム含有量を誇る名湯「鶴巻温泉」に、直通バスでアクセスできます。

今後、新たに検討していく「新たな取組み」を点線で表示しています。（令和３年３月現在）

こんなふうに変わった、私の暮らし

小学生の子どもがいる 30 代夫婦の場合 ...

プロフィール 居住地：市内

- 秦野駅近くの住宅地に在住
- パパは東京の IT 会社に勤務、ママは市内のカフェにパート勤務
- 子ども連れでも楽しめるところがわからず、普段、表丹沢に行く機会はほとんどない

子どもの校外学習にて親子で土と触れ合いながら、落花生やさつまいもの**掘り取りを体験**し、その楽しさ・おいしさに感動！

家族で**市民農園**にチャレンジし、コミュニティが広がる

農家のおじさんが、秦野戸川公園でボルダリングができるって教えてくれたよ！やってみたい！

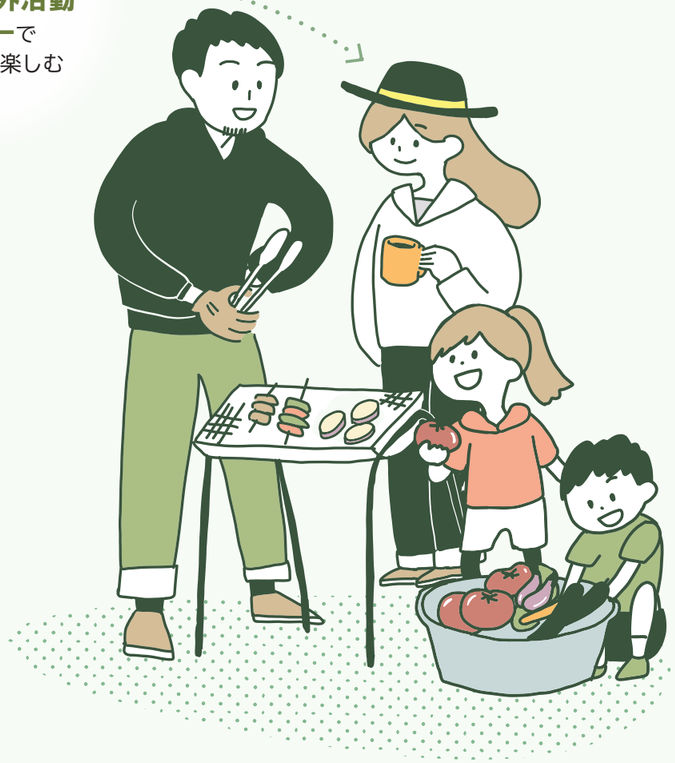
道具のレンタルなどの設備が整っていて、子ども連れでも気軽に楽しめるんだな

子どもたちは、**はだの丹沢クライミングパーク**でボルダリングを習い始める

市民農園で採れた野菜を使い、**秦野戸川公園**にて家族で**バーベキュー**をするようになる

市内在住の友人家族を誘って**表丹沢野外活動センター**でキャンプを楽しむ

当たり前になっていた表丹沢の風景や自然に実際に触れることで、秦野で暮らすことの豊かさに気づき、もっと秦野を好きになりました！



こんなふうに変わった、私の暮らし

20 代後半の独身女性の場合 ...

車で新東名高速道路
を走り、友人たちと
キャンプに訪れる
まずは**秦野丹沢SA**で
地域情報をゲット

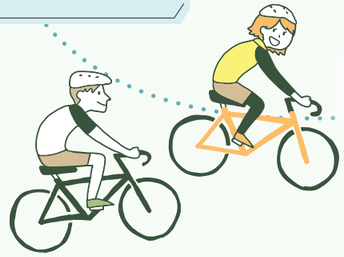
秦野市の**総合ホームページ**を使って
友人と沢登り体験
を予約

ホームページに
いろいろなアクティビティ
の情報が載っていて、
ほかのものにも
興味がわいてきた！

プロフィール　居住地：横浜市

- 東京のデザイン会社に勤務
- 大学生時代に秦野で一人暮らしをしていた
- アウトドアアクティビティが好きで、週末には友人を誘って車で遠征するのがマイブーム

ヤビツ峠レストハウス
を拠点に、週末に
アウトドアのガイドを
するようになる

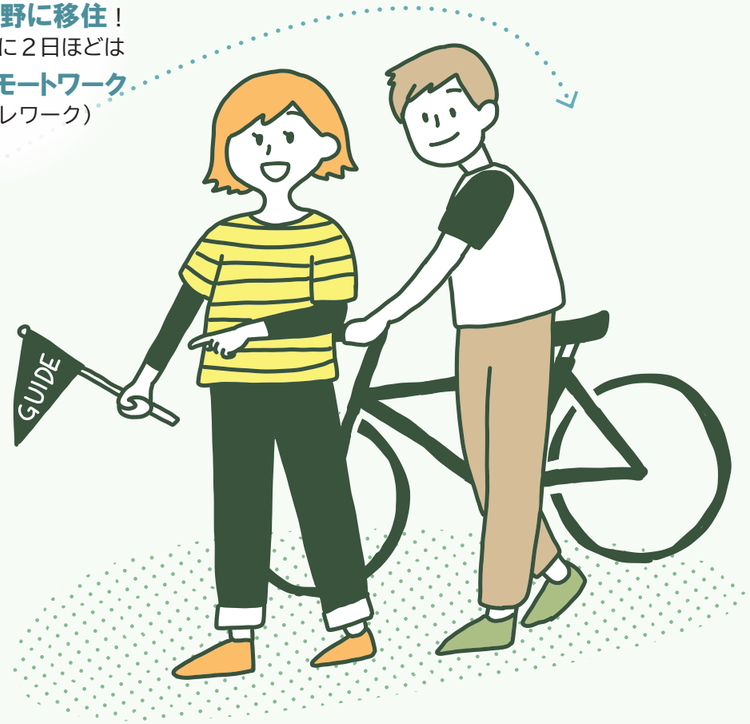


ロードバイクや
パラグライダーなど
新たなアクティビティ
にも挑戦し始める

資源ガイドになる
ための講座を受けて、
地域の歴史や資源に
詳しくなったよ

他都市に住みながら、秦野の人や自然と触れ合う週末を過ごすうちに、第２のふるさとのように感じられ、移住を決めました！

表丹沢で知り合った彼との
結婚を機に、**秦野に移住**！
転職はせず、週に２日ほどは
自然のなかで**リモートワーク**
（ふるさとテレワーク）



こんなふうに変わった、私の暮らし

60 代のシニア夫婦の場合 ...

プロフィール 居住地：東京都

- リタイア世代の夫婦
- 東京で息子家族と二世帯住宅に居住
- 都心から気軽に行ける日帰り登山が趣味

ロマンスカーで秦野入り！
秦野駅前の**観光案内所**で
今日の山の情報や
市内の観光情報をチェック

ほかにもいろいろな観光
スポットがあるのね
今回は泊まってみようかしら

登山帰りに**宿泊**し、
翌日、**観光農園を体験**する

観光案内所にあった
チラシに興味を持ち、
森林セラピーに参加！
大日堂、緑水庵などの
歴史資源をめぐり、
新たな趣味となる

同じ趣味の仲間が増えた
からまた来たくなるなぁ

仲間に紹介された
農家レストランが
気に入り、常連となる

農家レストラン店主の紹介で、
週末農業にも参加するように
なり、秦野で採れた野菜を東京
のご近所さんにもおすそ分け

表丹沢での自然や農に触れ合う
様々な体験を通じて、
お気に入りのお店や新しい仲間が増え、
親しみの持てる場所になりました！

表丹沢で、自分だけの「本物の魅力」を見つけ出そう！